

地震！そのとき まず何をする？

さいがい ほんせい
災害発生！

はんしん あわじ だいしん さい じゆんかん てき おお ゆ ほんせい ちやくこ やく わり ひと
阪神・淡路大震災では、瞬間的な大きな揺れのために発生直後に約4割の人が「何もできなかった」と答えています。いざというときに行動できるよう日頃からイメージしておきましょう。



街中では

ブロック塀や自動販売機が倒れてくる可能性があるため、ビルや建物のそばから離れる。

電車、バスの乗車中は

つり革、手すりにしっかりとつかまる。



運転中は

あわててスピードを落とさない。ハザードランプを点灯し、周りの車に注意を促す。



落ち着いて、身の安全を確保！

まず自分の身を守る

- 3つの安全行動をとる！
姿勢を低く、頭を守り、動かない
→机やテーブルの下に身を隠す
(ガラス面や家具から離れる)
火の始末は揺れがおさまってから

2～5分後 揺れがおさまってから

- 火の始末
南海トラフ地震はゆくりとした大きな揺れが1～2分以上続くとされています

安全を確保する

- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保
- 家族の安否を確認
- スリッパや靴を履いて、けがを防ぐ
- 火災が発生したら初期消火

5～10分後

逃げる用意

- 非常持ち出し品を手元に確保
- テレビ、インターネット、ラジオなどで情報を把握
- ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす

10分～数時間後

地域の集合できる場所等で 隣近所の安否を確認する

- 自主防災組織等と協力し消火、救出活動
- 要配慮者がいる世帯を優先

数時間後～3日

みんなで協力する

- 水、食料は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報を集める
- 壊れた建物には入らない

「SOSカード(中央のページ)」
を持つ人がいたら
みんなで助け合う



建物が倒れそうなときは避難所へ
中央のページ
避難所マップ

火災！ そのとき

初期消火の3原則 早く知らせる、消火する、逃げる

初期消火は周辺地域への延焼を防ぎます。地域とわが家を守るために、自主防災活動に積極的に参加しましょう。

いつもの備え9ページ
「地域で備える」

知らせる 119番通報をする。

消火する 消火器、水のほか座布団でたたき、毛布で火をおおうなど手近なものも活用する。

逃げる 炎が天井にまで達したら、消火を止めてすぐ逃げます。逃げるときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。



安心+茨木市の防災

地震防災マップ

災害時の被害を最小限にするために、市が発行している「地震防災マップ」でお住まいの地域の揺れやすさや危険度を確認しておきましょう。

Webでもご覧いただけます 検索 茨木市地震防災マップ

